

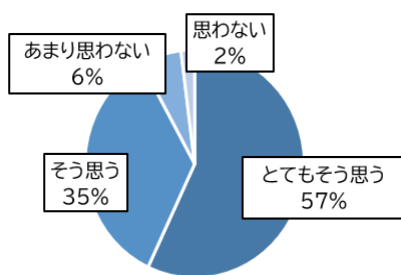
# 「夢や希望をもち、主体的に学び、たくましく伸びていく由宇っ子の育成」 をめざして 由宇小学校で取り組んでいくこと

学校評価アンケートの結果から見えてきた実態や課題が、「夢や希望をもち、主体的に学び、たくましく伸びていく由宇っ子の育成」をめざして学校と家庭、地域が一体となった取り組みを進めていくヒントとなります。今回、結果をもとにプロジェクトごとに取組や改善点をまとめました。無回答がある項目は、100%になっていません。

## 1 主体的な学びプロジェクトに関すること

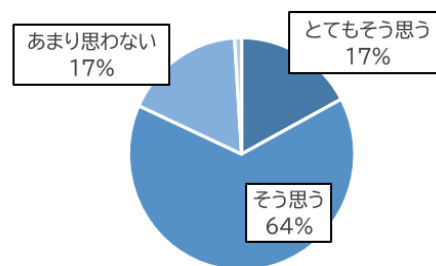
### 学び合い、読書、家庭学習の充実

人の話や意見をしっかり聞いて学習している  
【児童】



■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

お子様は、人の話や意見をしっかり聞いて学習している【保護者】

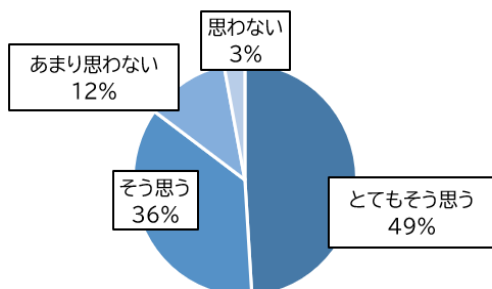


■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

現 状：児童・保護者共に、約8割の肯定的な回答である。

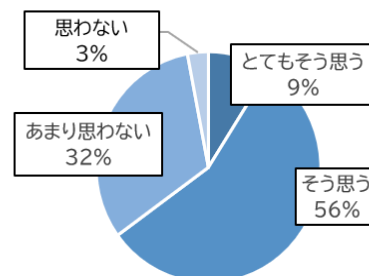
手立て：今後も「由宇小スタンダード」の「聞き方あいうえお」を授業や学校生活全般で活用し、人の話をしっかり聞く態度を育てていきたい。

授業中に自分の考えを相手に伝えることができる【児童】



■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

お子様は、授業中に自分の考えを相手に伝えることができる【保護者】

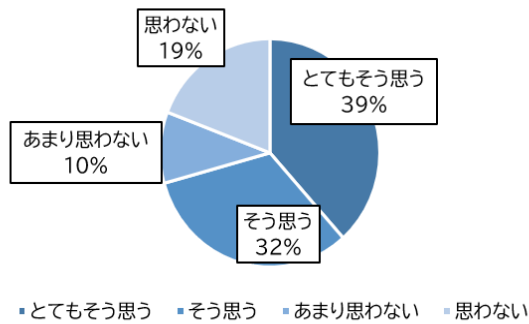


■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

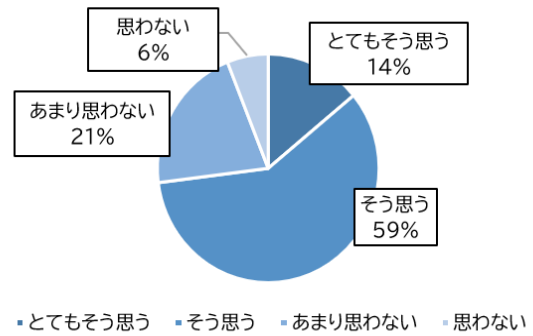
現 状：児童は85%の肯定的な回答であるが、保護者の肯定的な回答は65%と差が大きい。

手立て：参観日で、自分の考えを相手に伝えている場面を増やしたり、学年通信等でペア学習の場面等の写真を入れたりして、保護者に授業の様子を見ていただく機会を増やす。また、掲示物にも、授業で話し合っている写真を使うなど工夫する。

タブレットを活用した学習を家庭でもしている  
【児童】



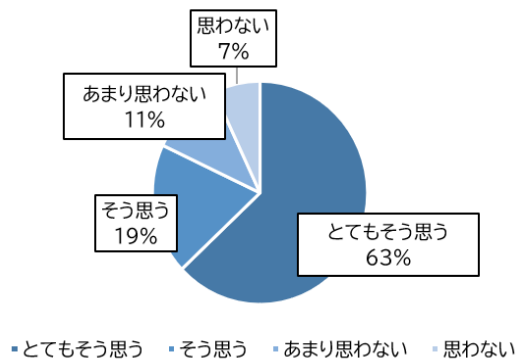
お子様は、家庭でタブレット等ICT機器を正しく利用し、学習に役立てている【保護者】



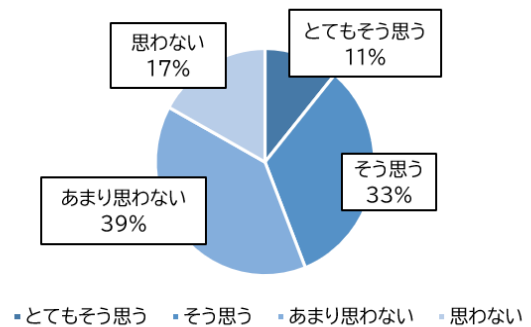
現 状：児童・保護者共に、約7割の肯定的な回答である。

手立て：児童はタブレットをしっかり活用して学習しているが、保護者は、タブレットを役立てて学習しているという内容までは把握していないと思われる。また、低学年は、まだ毎日持ち帰りをしていないので、高学年と活用の仕方の差が大きい。長期休業を中心に、コグトシなど様々なアプリを活用するように学年通信等で知らせていく。

図書室で本を借りた【児童】



お子様は、読書習慣が身についている【保護者】



現 状：児童は、8割以上が肯定的な回答であるが、保護者の肯定的な回答は、4割程度しかない。

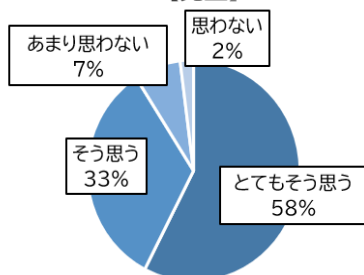
手立て：児童が借りた本を家に持ち帰らず、そのまま学校で読んで返却しているため、家庭で読書をしている姿を見る機会が少ないと思われる。図書委員会の活動で、「親子読書カード」を作成したり、児童の借りた本の一覧が見られるように工夫したりして、児童が読書に親しんでいる様子を知らせていく。

## 2 豊かな心プロジェクトに関すること

### 豊かな心を育む教育活動

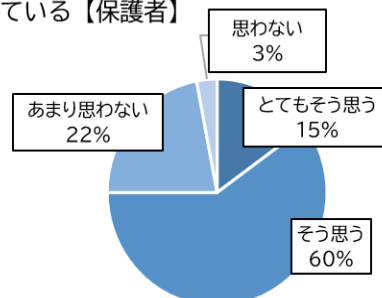
家や学校で気持ちのよいあいさつをしている

【児童】



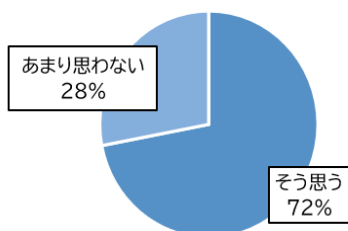
■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

お子様は、家や学校で気持ちのよいあいさつをしている【保護者】



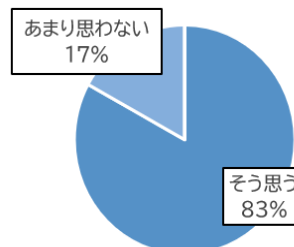
■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

児童は、家や学校で気持ちのよいあいさつをしている【教職員】



■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

児童は、家や学校で気持ちのよいあいさつをしている【地域】

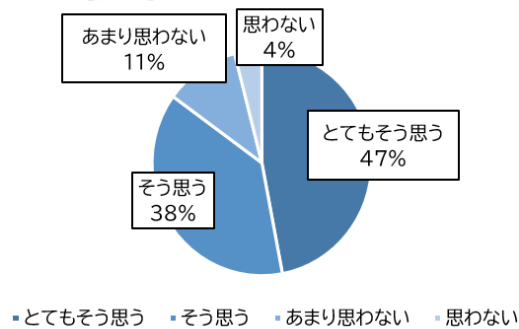


■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

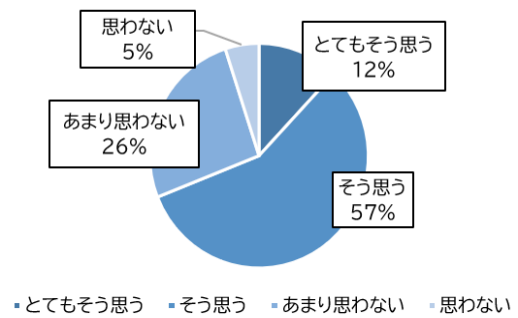
現 状：あいさつをする習慣はついてきている。しかし、「気持ちのよい」や「様々な場面・相手に」は課題が見られる児童もいる。「とてもそう思う」の割合を高くしていく。

手立て：運営集会委員会によるあいさつに関する企画の実施。生活委員会も協力しながら運営集会委員会が考えてくれたあいさつの合言葉を意識できるようにする。教員からのあいさつも続ける。気持ちのよいあいさつができている児童をしっかり褒めて価値付ける。

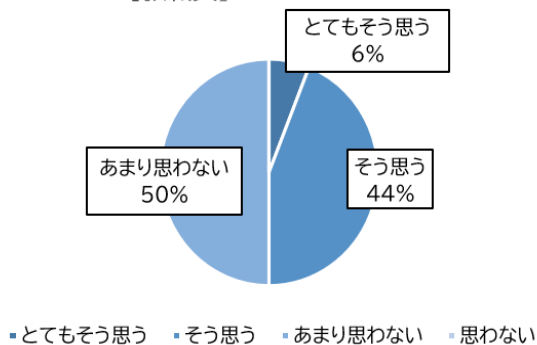
時と場を考え、ていねいな言葉づかいをしている【児童】



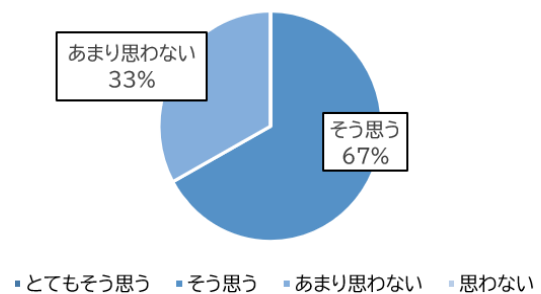
お子様は、時と場を考え、丁寧な言葉遣いをしている【保護者】



児童は、時と場を考え、丁寧な言葉づかいをしている【教職員】



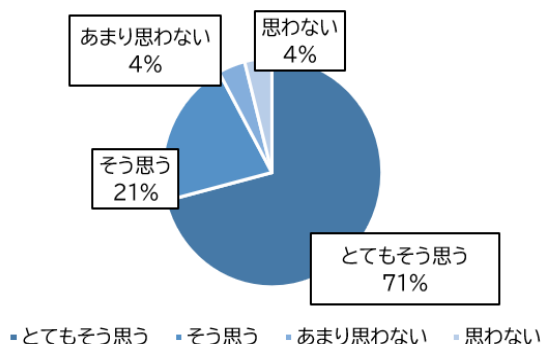
児童は、時と場を考え、丁寧な言葉遣いをしている【地域】



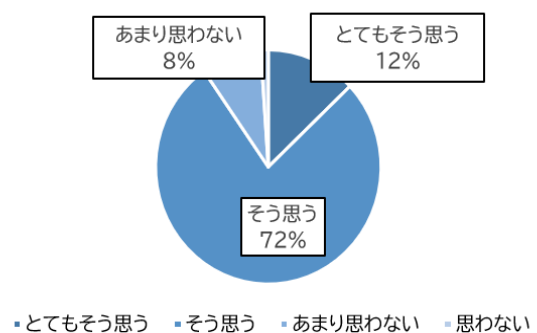
現 状：児童・保護者の方は肯定的な回答が多い。教職員・地域の方の両方の結果では丁寧な言葉づかいは、否定的な回答が多い。考えに差がある。時と場を考えての言葉づかいは特に課題である。

手立て：丁寧な言葉のメリット、乱暴な言葉のデメリットを児童に伝える。また、日頃からも乱暴な言葉を使った場面を見逃さずに声かけをその場でする。正しい言葉もセットで伝える。生活委員会の児童を中心に丁寧な言葉を意識できる取組を計画する。（ポスター・動画など）

困ったときに相談できる人(家族や先生・友達・地域の人)がいる【児童】



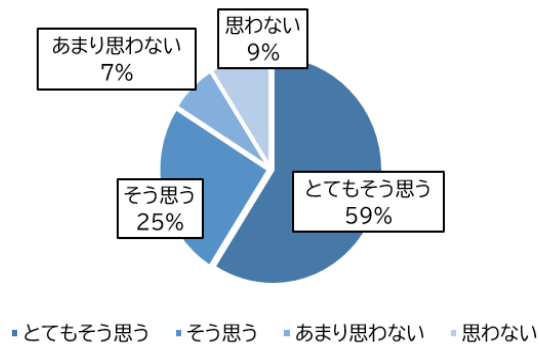
学校は、悩みや困ったことがあれば気軽に相談できる【保護者】



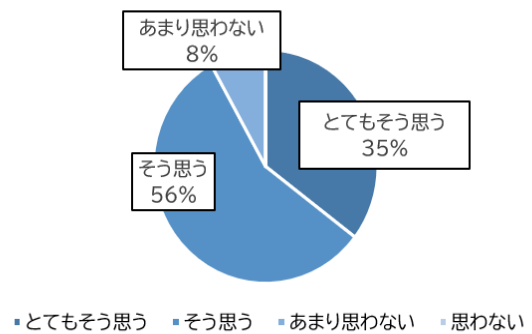
現 状：肯定的な回答も多いが、「あまり思わない」「思わない」の児童を0%にすることはできていない。家族にも相談できないは心配な点でもある。

手立て：相談の手段を伝える。（担任だけでなく、SCや教育相談、養護教諭など）児童との関わりを増やす。（日頃からの声かけ）週1回のアンケートの実施と聞き取りの確実な実施をし、気になる児童については、同学年や終礼で共有して様々な教員で相談に乗る。また、保護者とも連携しながら解決していく。

ふれあい班活動(ふれあい班遊び、集会活動)は、楽しい【児童】

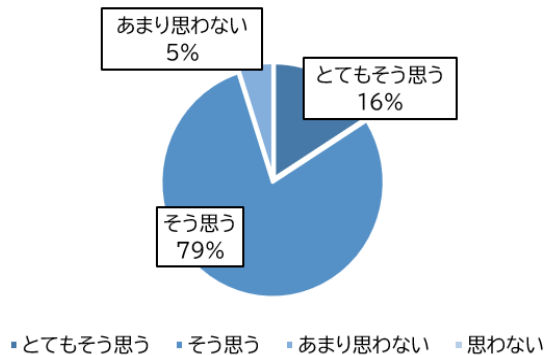


お子様は、集会活動やふれあい班遊びを楽しみにしている【保護者】

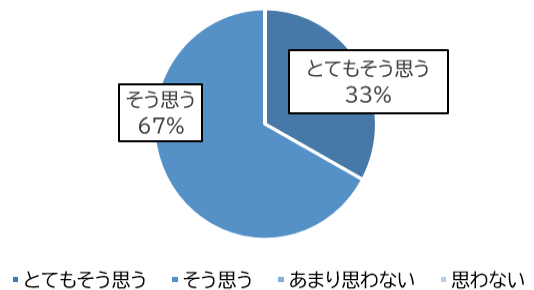


現 状：ふれあい班活動については、肯定的な評価の割合が高い。1年生を迎える会や七夕集会などで児童のアイデアや思い(劇やクイズなど)を取り入れたことが結果に反映している。  
手立て：運営集会委員の企画・運営を引き続き行っていく。児童のアイデアや思いをしっかりと取り入れて、児童主体の集会を続けていく。

学校は、様々な体験活動を通して、魅力ある学校づくり、居場所づくり、絆づくりに努めている【保護者】



学校は、様々な体験活動を通して、魅力ある学校づくり、居場所づくり、絆づくりに努めている【地域】

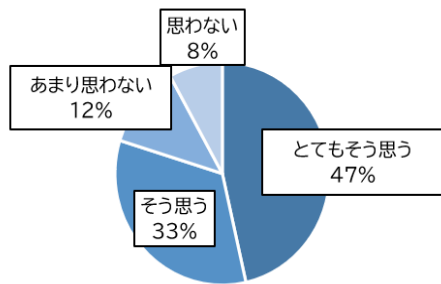


現 状：保護者の方、地域の方からもほぼ10割の肯定的な回答である。学校・地域連携カリキュラムをもとに「子どもといっしょに学ぼう」や「ミクロ学習」「着衣水泳」など様々な活動をどの学年でも取り組んでいることも影響している。  
手立て：体験活動後の振り返りやゆうPRIDEのアンケートなど2学期も継続していく。また、学年便りやホームページなどでも活動の様子を伝えていく。

### 3 たくましい体プロジェクトに関すること

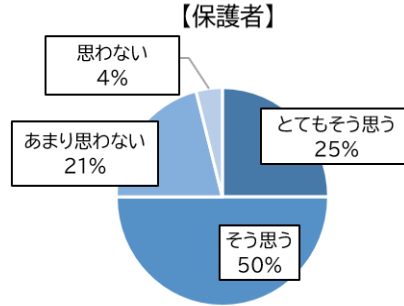
#### たくましい体をつくる学校と家庭の連携

早起き早寝に取り組んでいる【児童】



■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

お子様は、早起き早寝に取り組んでいる【保護者】

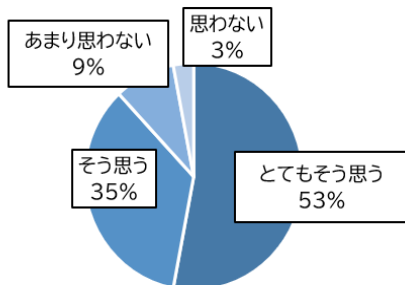


■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

現 状：保護者、児童とも8割が肯定的な回答をしている。早起き早寝によく取り組んでいる傾向が見られる。

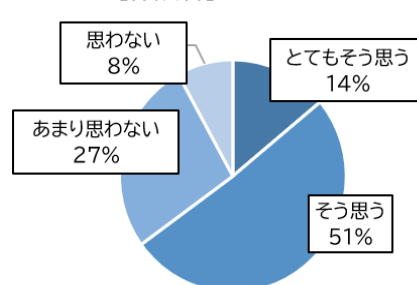
手立て：否定的な回答が減るよう、「元気チャレンジ習慣」でよびかけていきたい。また、平日だけでなく休日の早起き早寝についても声かけをしていきたい。

タブレットのきまりを守り、メディアの約束を守っている【児童】



■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

お子様は、家庭で決めたメディアの約束を守っている【保護者】

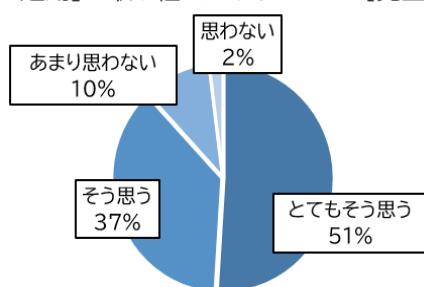


■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

現 状：児童と保護者の回答に乖離が見られる。児童と保護者の守ってほしいルールにずれがあるとも考えられる。

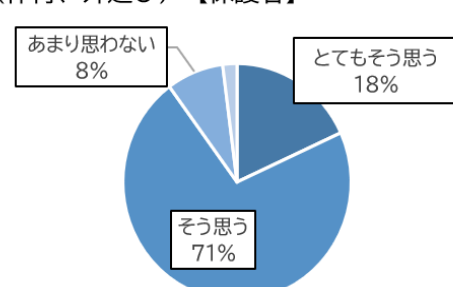
手立て：「わが家のメディアルール」を自分たちでつくるようにして主体的に取り組むようにしていく。また、「元気チャレンジ習慣」でメディアの使用時間についても声かけをしていきたい。

休み時間には元気に外で遊んだり、家では「おうちで運動」に取り組んだりしている【児童】



■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

学校は、児童の体力向上に取り組んでいる（体育、外遊び）【保護者】



■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

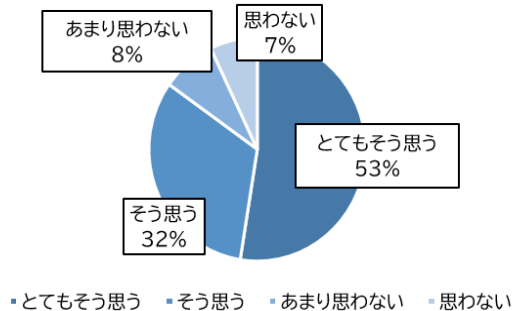
現 状：児童も保護者も約9割が肯定的な回答をしている。暑さの続く中、元気に遊んだり体を動かしたりしているようすがうかがえる。

手立て：引き続き、児童の体調に留意しながら外遊びの機会を確保したり、「おうちで運動」の取り組みを続けたりしていく。

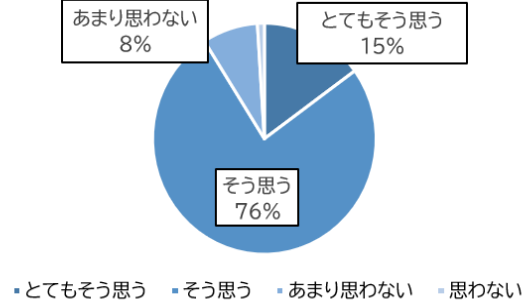
## 4 地域との連携プロジェクトに関すること

### 地域とともにある学校づくり

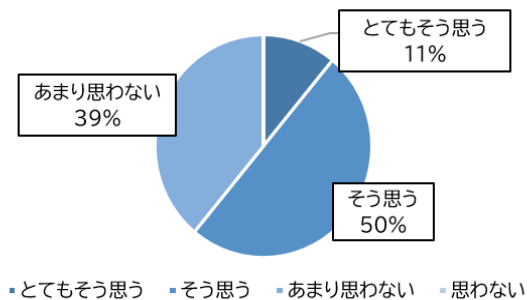
地域の方と一緒に活動したり、勉強したりするのは楽しい【児童】



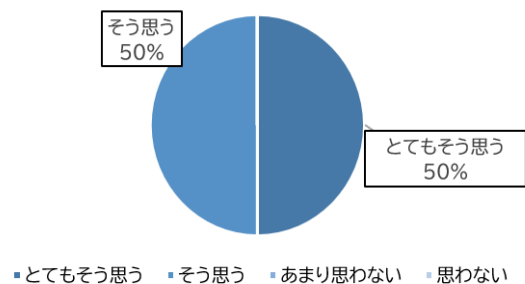
学校は、地域資源（人・もの・こと・情報）を有効に活用している【保護者】



私は、授業や行事等で結愛ネット等の地域資源活用を図った【教職員】



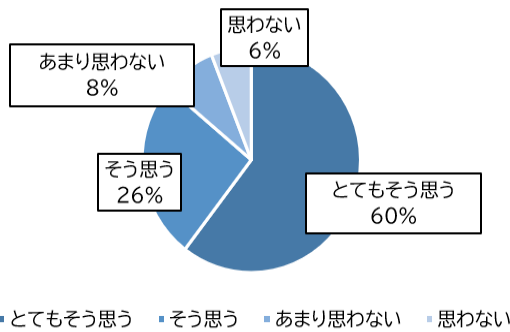
学校は、地域資源（人・もの・こと・情報）を有効に活用している【地域】



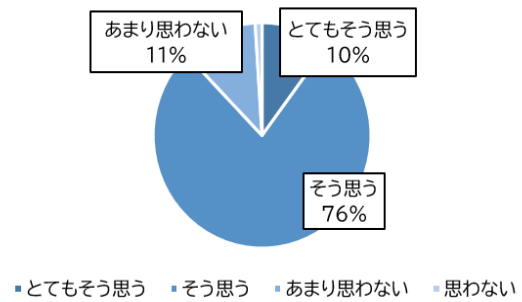
現 状：児童・保護者とも肯定的意見が8割を越えているが、教職員は肯定的意見が6割にとどまっている。

手立て：学校・地域連携カリキュラムの中で、どのように活動を充実させていくか学年やプロジェクトで話し合い、事前の連絡等で共有したり、意見をいただきながら実践していく。放送委員会が続けている地域・保護者からのメッセージ紹介を続け、児童もつながりをより深めていけるようにする。

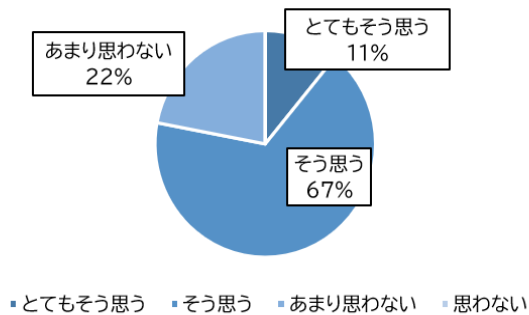
由宇中学校や他の学校の友達、園児と一緒に  
べんきょうするのは楽しい【児童】



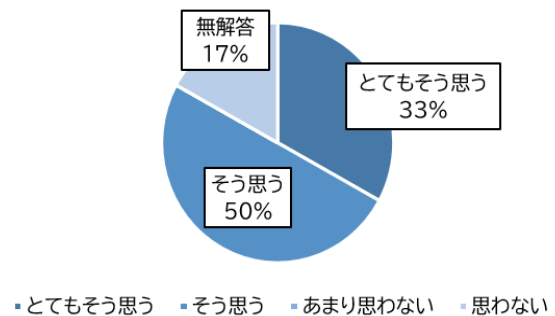
学校は、地域の小学校や中学校と連携し小中  
一貫教育に取り組んでいる【保護者】



私は、由宇地域の小学校や中学校と連携した小  
中一貫教育に取り組んでいる【教職員】



学校は、地域の小学校や中学校と連携し小中  
一貫教育に取り組んでいる【地域】



現 状：児童・保護者・教職員・地域とも肯定的な意見が役8割となっている。合同学習では、前年度の踏襲ではなく、引き継ぎ事項を生かして活動を計画していることや継続して行っていることが結果に表れていると考えられる。

手立て：2学期以降も児童にとってより充実した活動になるように計画するとともに、事前・事後の児童の思いを大切にしながら、児童が主体的に活動できる場面を増やせるよう工夫していく。